

# 株主の皆さまへ

## 第93期中間報告書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

**東芝機械株式会社**

Best Partner of Leading Industries

証券コード：6104

# 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。

ここに、株主の皆さまへ（第93期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

取締役社長 飯村 幸生

## 当第2四半期の状況と業績

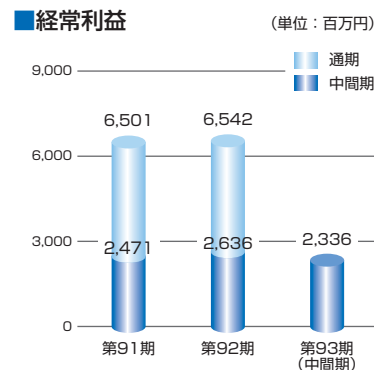
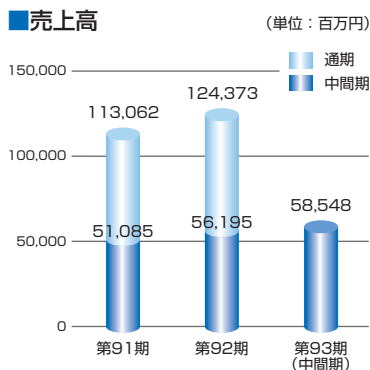
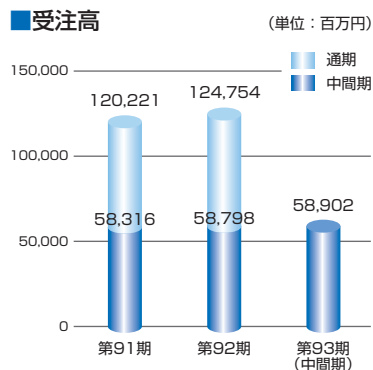
当第2四半期連結累計期間における国内の景気は、政府の経済政策や円安の継続を背景に輸出企業を中心に緩やかな回復基調が続きました。海外の景気は、米国等の先進国やインドでは緩やかな回復基調にある一方で、中国経済の減速が鮮明となり、東南アジア等の周辺諸国経済の不安定化や成長見通しが悪化するなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する機械業界につきましても国内の設備投資需要を中心に全体的には回復傾向を示しているものの、

対象とする市場や製品により景況感に差異が生じています。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画「TM AC Plan Advanced III」(Toshiba Machine Adapt to the Change Plan Advanced III)を平成27年4月1日からスタートさせ、前連結会計年度に続き「先進と拡張」をグランドコンセプトとし、それを支える3つのサブコンセプトに「ブランド力の確立」、「マルチ・ドメスティック&グローバルガバナンス」、「個別グローバルイノベーションの推進」を据え、今後成長が見込めるグローバル市場において、

## 業績ハイライト



当社グループが販売を拡大しプレゼンスを向上させるための諸施策として、新市場の開拓、受注の確保、国内外市場向けの新商品開発、生産効率向上のための生産革新活動、財務体質の改善等に全力をあげ、取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、585億4千8百万円（前年同期比4.2%増）となりましたが、損益につきましては、成形機事業の競争激化等により営業利益は、14億4千7百万円（前年同期比29.9%減）にとどまりました。経常利益は、23億3千6百万円（前年同期比11.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、平成27年4月1日付で、油圧機器事業の連結子会社であった株式会社ハイエストコーポレーションの株式譲渡益を受けて32億6千7百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

## 今後の見通しと取組み

今後の経済環境は、米国および国内経済の緩やかな回復が期待されるものの、中国や一部新興国の成長鈍化による世界経済への波及など先行き不透明な状況が続くと予想されます。また、為替の変動および国内外企業との競争激化など厳しい事業環境が想定されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、地域・顧客等新市場の開拓、市場・顧客ニーズにあった新商品の開発・上市、国内外工場における生産のさらなる効率化および最適

調達の一層の推進等により商品力を強化し、グローバル市場でのブランド力を高め、さらなる収益確保に努めてまいります。

なお、通期の業績につきましては、平成27年10月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

また、ISO9001・14001をベースとした品質・環境管理の徹底等に注力し、当社グループの将来を担う人材の育成ならびに法令遵守、社会貢献など企業の社会的責任活動にも積極的に取り組んでまいります。

## 配当について

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

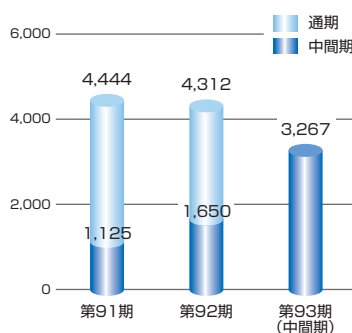
また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、企業の継続的發展のため将来の事業展開等を戦略的に勘案し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していく予定であります。

なお、当期中間配当金につきましては、1株につき2円増配の6円とさせていただきます。

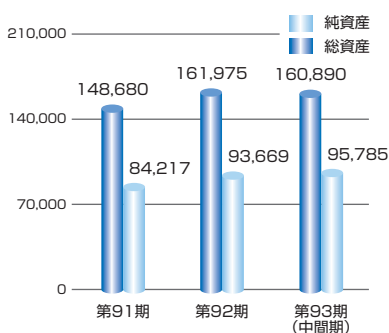
株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年12月

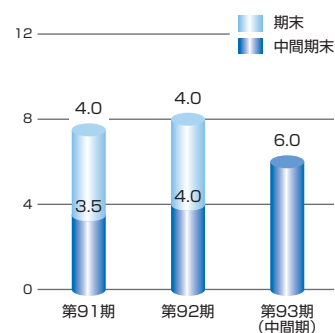
■親会社株主に帰属する四半期純利益\*（単位：百万円）



■総資産／純資産（単位：百万円）



■1株当たり配当金（単位：円）



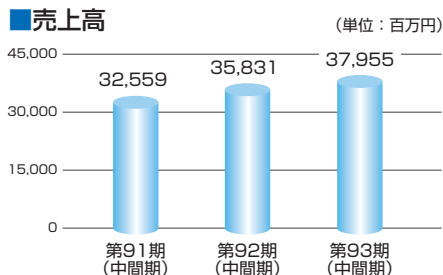
\*「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## 事業別の概況

### 成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

#### ❖ 射出成形機

中国、東南アジアの市況悪化に伴う需要の減少があったものの、国内の自動車・住設関連業界向け、北米の自動車関連業界およびインドの事務機器業界向け等で堅調な販売を維持しました。

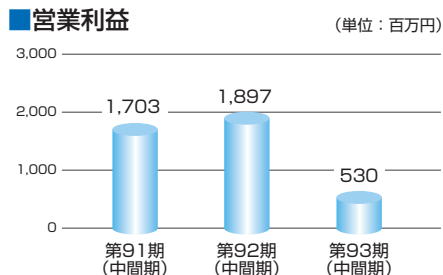


#### ❖ ダイカストマシン

中国、東南アジアの販売が減少したものの、国内に加え、北米、インドなどの販売は堅調に推移しています。

#### ❖ 押出成形機

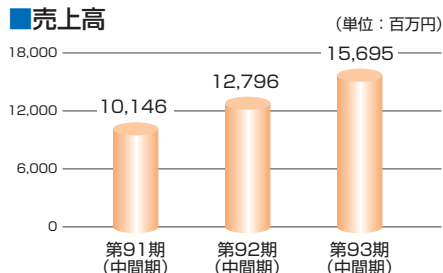
国内の光学関連業界の需要や、中国の二次電池向けのシート・フィルム製造装置などの販売が回復傾向にあります。



### 工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

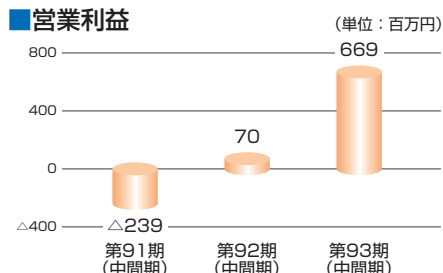
#### ❖ 工作機械

北米のエネルギー関連業界の低迷の影響はあるものの、中国の自動車関連業界やインドのエネルギー関連業界、国内の機械部品加工関連業界向けを中心に堅調な販売を維持しています。



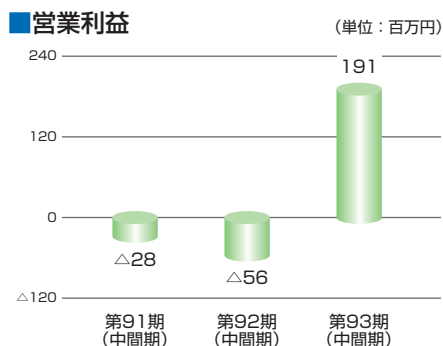
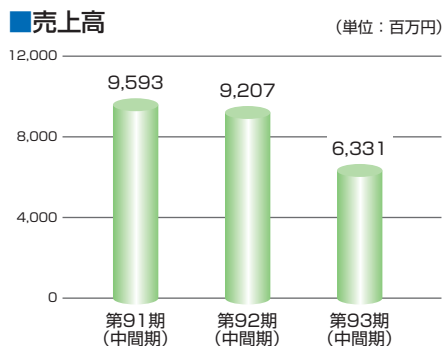
#### ❖ 精密加工機

中国、台湾および韓国向けのスマートフォン関連製品や中国のLED照明の金型業界向け等の需要があり、堅調な販売を維持しています。



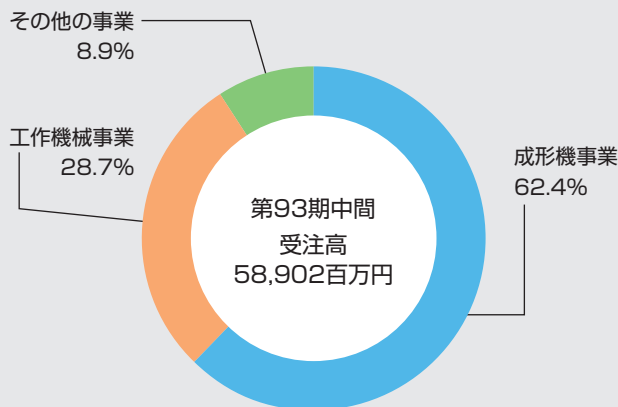
## その他の事業（産業用ロボット、電子制御装置など、および油圧機器事業）

国内の自動車関連業界等の自動化関連設備向けや東アジアを中心とした電子デバイス・通信機器等の組立自動化設備向けに堅調な販売を維持しています。

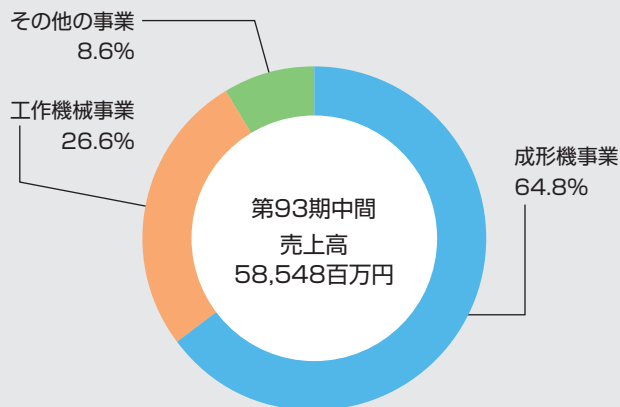


(注) 当期より、「油圧機器事業」において、平成27年4月1日付で、連結子会社であった株式会社ハイエストコーポレーションの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。これにより、「油圧機器事業」の重要性が低下したため、「その他の事業」に含めて開示し、報告セグメントを従来の「成形機事業」、「工作機械事業」、「油圧機器事業」の3つの報告セグメントおよび「その他の事業」の区分から、「成形機事業」、「工作機械事業」の2つの報告セグメントおよび「その他の事業」の区分に変更しております。

事業別受注高構成比率



事業別売上高構成比率



# 連結財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第93期中間期 (平成27年9月30日現在)	第92期 (平成27年3月31日現在)	科 目	第93期中間期 (平成27年9月30日現在)	第92期 (平成27年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
流 動 資 産	122,189	121,736	流 動 負 債	49,808	52,254
現金及び預金	17,614	20,708	支払手形及び買掛金	26,116	28,086
受取手形及び売掛金	40,929	43,751	短期借入金	11,798	11,913
有価証券	28,374	19,500	未払法人税等	1,312	1,141
商品及び製品	6,916	9,228	未払費用	5,053	5,238
仕掛品	23,282	22,473	製品保証引当金	563	599
原材料及び貯蔵品	66	65	その他の流動負債	4,965	5,276
繰延税金資産	3,006	3,375	<b>固 定 負 債</b>	<b>15,295</b>	<b>16,052</b>
その他の流動資産	2,114	2,764	長期借入金	5,050	5,300
貸倒引当金	△ 116	△ 131	長期未払金	8	8
<b>固 定 資 産</b>	<b>38,700</b>	<b>40,238</b>	繰延税金負債	2,307	2,492
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>19,868</b>	<b>20,715</b>	役員退職慰労引当金	26	44
建物及び構築物	10,529	10,664	退職給付に係る負債	7,815	8,105
機械装置及び運搬具	1,920	2,524	資産除去債務	47	47
土地	6,485	6,520	その他の固定負債	39	53
リース資産	67	84	<b>負 債 合 計</b>	<b>65,104</b>	<b>68,306</b>
建設仮勘定	104	173	<b>純資産の部</b>		
その他の有形固定資産	761	747	<b>株 主 資 本</b>	<b>89,038</b>	<b>86,379</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>3,506</b>	<b>3,832</b>	資 本 金	12,484	12,484
の れ ん	2,647	3,040	資 本 剰 余 金	19,600	19,600
その他の無形固定資産	858	791	利 益 剰 余 金	66,996	64,337
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>15,326</b>	<b>15,691</b>	自 己 株 式	△ 10,043	△ 10,043
投資有価証券	14,552	14,811	<b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b>	<b>6,746</b>	<b>7,289</b>
長期貸付金	56	62	その他有価証券評価差額金	3,493	4,073
繰延税金資産	84	86	為替換算調整勘定	3,733	3,780
その他の投資	674	778	退職給付に係る調整累計額	△ 480	△ 564
貸倒引当金	△ 41	△ 47	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>95,785</b>	<b>93,669</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>160,890</b>	<b>161,975</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>160,890</b>	<b>161,975</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第93期中間期	第92期中間期
	(平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	(平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売 上 高	58,548	56,195
売 上 原 価	42,371	40,741
売 上 総 利 益	16,176	15,453
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	14,728	13,386
営 業 利 益	1,447	2,066
営 業 外 収 益	1,252	1,227
営 業 外 費 用	363	657
経 常 利 益	2,336	2,636
特 別 利 益	2,668	5
特 別 損 失	11	7
税金等調整前四半期純利益	4,993	2,634
法人税、住民税及び事業税	1,269	1,298
法 人 税 等 調 整 額	456	△ 314
四 半 期 純 利 益	3,267	1,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,267	1,650

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主損益調整前四半期純利益」は「四半期純利益」に、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第93期中間期	第92期中間期
	(平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	(平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,735	1,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,884	△ 942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,023	△ 564
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	△ 499
現金及び現金同等物の増減額	5,780	△ 74
現金及び現金同等物の期首残高	40,208	41,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,989	41,204

## 連結財務諸表のポイント

### 資 産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ10億8千5百万円減少し、1,608億9千万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が28億2千2百万円、商品及び製品が23億1千2百万円減少したこと等によります。

### 負 債

負債は、前連結会計年度末に比べ32億2百万円減少し、651億4百万円となりました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が19億7千万円減少したこと等によります。

### 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ21億1千6百万円増加し、957億8千5百万円となりました。増加の主な内訳は、利益剰余金が26億5千9百万円増加したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.5%となりました。

### キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ57億8千万円増加し、459億8千9百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、37億3千5百万円の増加になりました。これは主として、売上債権の減少11億2千6百万円、たな卸資産の減少5億8千万円等の収入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、28億8千4百万円の増加になりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出7億7千8百万円等があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入15億6千6百万円、短期貸付金の回収による収入21億1百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、10億2千3百万円の減少になりました。これは主として、短期借入金金の減少4億1百万円、配当金の支払額6億8百万円等があったことによります。



### ■御殿場工場第1工場の生産能力を増強

工作機械の生産拠点である御殿場工場第1工場について、汎用工作機械の生産能力増強のため、改築工事を企画・実施しております。

6月に完了した第1期工事では、恒温室および洗浄場を新設し、主軸頭組立ラインの最適化を図りました。

12月に完了予定の第2期工事では、増床工事を行ない、船台の拡充を図っております。

本改築工事により、汎用工作機械の生産可能台数は、現状の1.5倍となる見込みです。



御殿場工場第1工場改築工事の様子

### ■東芝機械グループソリューションフェア2015開催

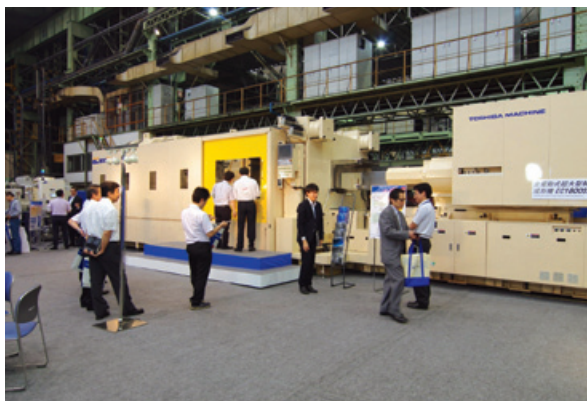
5月21日（木）から23日（土）までの3日間、今年で13回目となる「東芝機械グループソリューションフェア2015」を沼津工場（本社）および御殿場工場で開催し、過去最高となる5,507名のお客様にご来場いただきました。

今回は、「“先進と拡張”次世代ソリューションへの挑戦 ～最先進技術とシステムエンジニアリングで新時代に貢献～」をコンセプトに掲げ、最先進技術および新商品をご紹介します。

また、各種成形機、工作機械、精密機器、産業用ロボット、鋳造・機械加工、レトロフィット・アフターサービスなど、当社の豊富なラインナップのみならず、それらをインテグレートするシステムエンジニアリングから生み出されるソリューション提案により、現状での市場が抱える問題点を解決する取り組みもご覧いただきました。

当社グループのPR活動が功を奏し、会期中は多数の引き合い、成約をいただくことができ、盛況のうちに終わることができました。

今後も、グローバル市場のニーズにあった商品群の拡充、新素材・新分野に対する新技術の開発などにより、成長市場への深耕のスピードを更に高めてまいります。



超大型電動射出成形機（EC1800SX-120A）ソリューションフェア2015風景





## ■タイ工場にて第2回東芝機械グループ内覧会2015を開催

6月24日（水）、25日（木）にタイ工場第2工場で第2回東芝機械グループ内覧会2015を開催しました。

本内覧会は現地生産モデルがいかにコストパフォーマンスに優れた機械なのかをお客様にPRし、当社グループの豊富なラインナップ商品の先進技術をご紹介します場になっております。具体的には、全電動射出成形機EC100ST、ENA100、ダイカストマシンDC350J-SXTおよび多軸ロボットTVLシリーズを実機展示し、実演を行ないました。また、東芝機械グループ製品のパネル展示、技術講演会および付帯設備メーカーの協賛展示も実施しました。

期間中、300名を超えるお客様にご来場いただき、盛況のうちに終わることができました。本内覧会でいただいた多くの引合いを今後の受注へと繋げていくべく注力してまいります。



タイ工場ダイカストマシン組立ライン

## ■日刊工業新聞社主催 第45回機械工業デザイン賞を受賞 (小型垂直多関節ロボットTVL500/TVL700シリーズ)

7月28日（火）に当社の「小型垂直多関節ロボットTVL500/TVL700シリーズ」が、日刊工業新聞社主催「第45回機械工業デザイン賞」にて、「審査委員会特別賞」を受賞しました。

本賞は主に生産財を対象として、外観、機能、性能、色彩など様々な要素を総合的に判断して評価されるものです。

今回の受賞は、機能面、操作面、造形面の3つの尺度から高い評価を得ました。

その他、電子機器の受託生産を行なうEMS企業で高い生産性を実現する汎用機として期待できるという点においても高い完成度であると評価されました。

当社は、今後開発される機械でも、機械が有する構造美が機能美に昇華されるデザイン性を備えた製品づくりに取り組んでまいります。



小型垂直多関節  
ロボットTVL500



贈賞式の様子

## ■株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、インターネットでのアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします（裏表紙ご参照）。

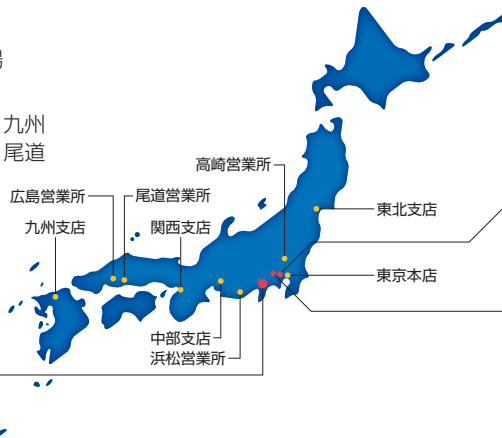
# グローバルネットワーク (平成27年9月30日現在)

## 国内拠点

- |      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 本社・  | ● 本社  | 沼津          |
| 製造拠点 | ● 工場  | 沼津、相模、御殿場   |
| 販売拠点 | ● 本店  | 東京          |
|      | ● 支店  | 東北、中部、関西、九州 |
|      | ● 営業所 | 高崎、浜松、広島、尾道 |



沼津工場（本社）



相模工場



御殿場工場

## 海外拠点

- |      |          |                  |
|------|----------|------------------|
| 製造拠点 | ● 工場     | 上海、インド、タイ        |
| 販売拠点 | 全50拠点    |                  |
|      | ● 東アジア   | 15拠点             |
|      | ● 東南アジア  | 27拠点 (インド19拠点含む) |
|      | ● 北米・中南米 | 7拠点              |
|      | ● 欧州     | 1拠点              |



上海工場  
TOSHIBA MACHINE  
(SHANGHAI) CO., LTD.



インド工場  
TOSHIBA MACHINE  
(CHENNAI) PRIVATE LIMITED



タイ工場  
TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING  
(THAILAND) CO., LTD.



北米販売拠点  
TOSHIBA MACHINE  
COMPANY, AMERICA

# 会社の概況／株式の状況 (平成27年9月30日現在)

## 会社の概況

- ① 所在地  
東京都千代田区内幸町2丁目2番2号
- ② 創業  
1938年(昭和13年)12月
- ③ 設立  
1949年(昭和24年)3月
- ④ 資本金  
124億8千4百万円
- ⑤ 従業員数  
連結：3,354名(前期末比112名減)  
単独：1,852名(前期末比1名減)
- ⑥ 役員(平成27年12月1日現在)
- |                |      |
|----------------|------|
| 代表取締役社長 社長執行役員 | 飯村幸生 |
| 代表取締役 専務執行役員   | 岸本吉弘 |
| 取締役 常務執行役員     | 坂元繁友 |
| 取締役 常務執行役員     | 八木正幸 |
| 取締役 常務執行役員     | 三上高弘 |
| 取締役 執行役員       | 高村和夫 |
| 取締役 執行役員       | 伊東克雄 |
| 取締役 執行役員       | 小林昭美 |
| 社外取締役          | 秋山寛  |
| 社外取締役          | 小倉良弘 |
| 常勤監査役          | 牧野輝幸 |
| 常勤監査役          | 綿屋慎介 |
| 常勤監査役          | 辻眞豊  |
| 監査役            | 宇佐美豊 |

(注) 常勤監査役 牧野輝幸、監査役 宇佐美豊の両氏は社外監査役であります。

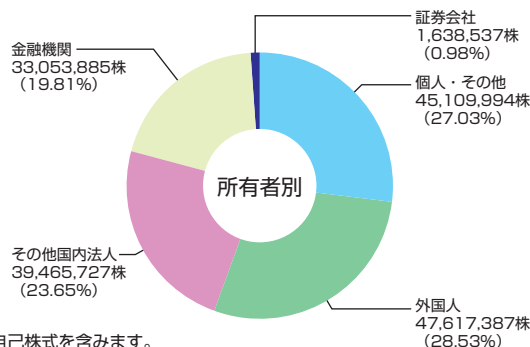
## 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 360,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 166,885,530株  
(自己株式14,860,930株含む)
- (3) 株主数 11,066名  
(前期末比448名減)
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社東芝	33,545千株	22.07%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	7,718	5.08
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	6,158	4.05
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,764	3.13
J U N I P E R	4,002	2.63
株式会社静岡銀行	2,980	1.96
株式会社三井住友銀行	2,682	1.76
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	2,561	1.68
東芝機械取引先持株会	2,560	1.68
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC/JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	2,540	1.67

- (注) 1. 当社は、自己株式を14,860,930株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## (5) 株式の分布状況



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行なっております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



# ホームページのご紹介



東芝機械ではホームページによる情報開示を積極的に行なっております。財務情報や最新ニュースをはじめとするIRサイトも掲載しており、製品情報も含めて随時更新を行なっております。

<http://www.toshiba-machine.co.jp>

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6104**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com